

宇部のコミュニティ・スクール

学校と地域の連携について、「今」を振り返ってみる

宇部市のコミュニティ・スクール（以下CS）や地域協育ネットの取組はすばらしく、学校の課題を開き、子どもたちのための学校支援や「学校を核とした地域づくり」につながる地域貢献を日々充実させています。そこで、次年度の取組の質をもう一段高めるため、各校区の「学校と地域との連携」についての「今」を振り返る視点を下記に示しました。

学校と地域の連携を振り返る視点

- ① その連携は、「学校支援」にとどまらず、地域づくりや人材育成につながっていますか。
- ② その連携は、保護者や地域の人々から「十分に意見をもらって」進められていますか。
- ③ その連携は、学校・保護者・地域住民で「目標を共有」して行われていますか。
- ④ その連携は、様々な学校課題にも対応できる連携ですか。
- ⑤ その連携は、人が入れ替わっても持続可能な仕組みですか。
- ⑥ その連携により、保護者や地域の人々の「当事者」意識は高まっていますか。
- ⑦ 何か問題が発生したとき、保護者や地域の人々は学校の味方、代弁者になってくれますか？

参考：「地域に開かれた学校」から「地域とともにある学校」へ
～コミュニティ・スクールを核とした学校と地域の連携・協働～

NITS独立行政法人教職員支援機構：校内研修シリーズNo.24

CSの取組が常に活性化され、子どもたちのよりよい学びや育ちや地域づくりにつながるよう学校と地域の連携の質を高めてほしいと思います。

平成30年度 第3回地域連携教育アドバイザー連絡会

1月17日、山口県庁で第3回地域連携教育アドバイザー連絡会が開催されました。

「地域連携教育アドバイザーの共通取組事項」に関する成果と課題」を協議した内容の一部をお伝えします。

地域協育ネット協議会の自立に向けた取組の成果として、「校長と会長の定期的な打合せの実施により、地域学校協働活動に向けて効果的な協議会となってきた。」「地域協育ネット協議会会長と各学校運営協議会会長との連携により、相互の理解が進み、連携も進んでいる。」などの報告がありました。

課題として、「地域協育ネット協議会に事務局機能を持たせる働きかけが必要である。」「小中合同学校運営協議会と地域協育ネット協議会の機能の違いが明確でない中学校区がある。」「協議会に参加するメンバーが固定化されている。」などの意見がありました。

コミュニティ・スクールの機能を十分に発揮し、「地域とともにある学校づくりや学校を核とした地域づくり」を推進したり、子どもたちの生きる力を社会総がかりで育んだりするためにも、学校運営協議会に関わる多くの人々が研修を重ねることの大切さを強く感じました。

コミュニティ・スクールや地域協育ネットに関する情報をお寄せください。

宇部市教育委員会コミュニティスクール推進課 Tel 0836-37-2780

E-mail: ed-shakai@city.ube.yamaguchi.jp